

子どもの「心のこえ」を聴く

昨今、「いじめ」が原因で命を落とす子どもの痛ましいニュースを耳にします。何が、子どもを窮地に追いやったのでしょうか。すべての子どもがすくすくと育ってくれることを祈ってやみません。それでは、大人として子どもにどのように接していけばよいのでしょうか。

1. 子どもが発する言葉や態度に敏感になりましょう。

子どもは、正直です。身体の調子が悪かったり、何か心配事があったりすると、急に口数が少なくなるなどの変化が見られるはずです。その兆候を見逃さずに、親が敏感に対応していくことです。その際、子どもがいらだっていたり、興奮したりしている時に話かけるのは慎みたいものです。精神的に落ち着いていると思われる時に、親は子どもの表情をよく見て「心のこえ」を聴くことです。例えば、友達や学校のことで悩んでいたら、子どもと話し合い、必要に応じて学校などに相談し、子どもの悩みを解消してやるように心掛けましょう。私たち「出雲市子ども支援センター」では、臨床心理士を含む4人の相談員が、子どもの悩みや子育てに悩む保護者の相談に応じています〔月～金曜日8時30分～18時、土曜日8時30分～17時 連絡先などは10ページ右上参照〕。どうぞご利用ください。

2. 親が子どもに指示や命令、禁止の言葉をできるだけ慎みましょう。

子どもが親の言う通りにしてくれないと「早く をしなさい」「それはいけません」と思わず命令口調になりがちです。そんな言葉を絶えず耳にしていると、子どもは知らず知らずの内にストレスを蓄積していきます。そのストレスは思春期（特に第二反抗期）に爆発することがあります。時には、そのはけ口がいじめにつながったり、非行に走ったりすることもあります。必要以上に子どもをせき立てず、子どものテンポに応じた接し方が大切です。

3. 家庭が明るく、楽しく、和やかでありたいものです。

大人は、時として、仕事や人とのつき合い、経済的なことなどで悩むことがあります。子どもが居る所で心配ごとや悩みごとを話すことは、できるだけ控えたいものです。家族が「明るく」「和やか」な雰囲気であると、子どもにとっては居心地の良い居場所となります。ささいなことでも子どもが話せるような雰囲気づくりを心がけましょう。

平田文化館駐輪場「青ポスト」の活用を



昨年新設した平田文化館駐輪場の青ポスト

支援センターでは、環境浄化活動に取り組んでいます。子どもにとって有害と思われるビデオテープやDVD、本や玩具などを回収し、処分しています。その回収箱として「青ポスト」を出雲ドーム駐輪場と出雲体育館前、平田文化館駐輪場の3か所に設置しています。毎月定期的に回収しており、その数は1回あたり100～200点もあります。有害図書類が子どもたちの目に触れることを避けるため、処分される際にはぜひ、青ポストを利用してください。

青い旅

出雲市子ども支援センターの主な業務

相談活動 子ども支援活動 補導活動
啓発活動 他機関連携・環境浄化など

場所 出雲市今市町北本町1-7
(出雲勤労青少年ホーム内)
TEL 0853-21-4444
相談電話フリーダイヤル 0120-84-7867
相談時間 (月～金)8:30～18:00 (土)8:30～17:00
URL <http://www.city.izumo.shimane.jp>

平成19年(2007)1月

かわいい子には旅をさせよ

新しい年、平成19年が始まりました。今年は「猪年」です。「猪突猛進」とも言いますが、社会全体がさらに飛躍し、前進する年であって欲しいものです。

4月になると、就職や進学など人生の大きな転機を迎えます。同時に、住み慣れた家や地域を離れていくこともあります。「かわいい子には旅をさせよ」のことわざの通り、新しい環境で頑張ることになります。しかし、中には、夢や期待と食い違うことや、暗礁に乗り上げることがあります。

そのような時、家族の心強い支援が必要となります。ふだんの生活から、子どもがひとり立ちできるように心を支える関係を築いていきたいものです。

1. 子どもが新しい環境で生きていくための社会性やマナーを身につけさせる。

短期間で身につくものではないと思いますが、日常生活の中で次のようなことを心がけてみませんか。起床時刻や朝食のあり方・あいさつ・学習時間・就寝時刻など、一日の生活を振り返り、ルールを決めましょう。子どもの行動を見守り、良くなった点を認め、習慣の定着化を図りましょう。



2. 生活にメリハリ(ケジメ)をつける。

子どもをほめるときと叱るときにはタイムリーに行いましょう。ほめるときはしっかりとほめ、逆に叱るときはその場で叱ることが大切です。子どもが家族と違った社会で自立していくには、メリハリが必要です。

3. 子どもが問題行動と思われる行動を起こした時こそ、子育ての良い機会です。

子どもがけんかや万引き、喫煙など問題行動を起こした時こそ、親の対応が問われます。つい説教をたくなりますが、「なぜ、けんかになったのか」「その時どう思ったのか」など、子どもの言い分をしっかりと聞きましょう。親が心の痛みを分かち合い、これからどのように向き合っていくかをしっかりと話し合うことが大切です。